【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の４の７第４項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2019年９月10日
【四半期会計期間】	第91期第２四半期（自　2018年７月１日　至　2018年９月30日）
【会社名】	ボーソー油脂株式会社
【英訳名】	BOSO OIL&FAT CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長　　川崎　薫
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋本石町四丁目５番12号
【電話番号】	０３－３２４１－４２２６（代表）
【事務連絡者氏名】	経理部長　　古川　勝彦
【最寄りの連絡場所】	千葉県船橋市日の出２丁目17番１号
【電話番号】	０４７－４３３－５５５１
【事務連絡者氏名】	経理部長　　古川　勝彦
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町２番１号）

１【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

2018年11月14日に提出いたしました第91期第２四半期（自　2018年７月１日　至　2018年９月30日）に係る四半期報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、訂正後の四半期連結財務諸表については、東陽監査法人より四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

２【訂正事項】

第一部　企業情報
　第１　企業の概況
　　１　主要な経営指標等の推移
　第２　事業の状況
　　２　経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析
　　(2) 財政状態の分析
　第４　経理の状況
　　１　四半期連結財務諸表
　　(1) 四半期連結貸借対照表
四半期レビュー報告書

３【訂正箇所】

訂正箇所は＿＿＿を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第１【企業の概況】

１【主要な経営指標等の推移】

（訂正前）

回次		第90期 第２四半期 連結累計期間	第91期 第２四半期 連結累計期間	第90期
会計期間		自　2017年４月１日 至　2017年９月30日	自　2018年４月１日 至　2018年９月30日	自　2017年４月１日 至　2018年３月31日
売上高	（千円）	7,036,412	5,935,550	13,264,045
経常損失（△）	（千円）	△218,578	△234,654	△588,053
親会社株主に帰属する四半期（当期）純損失（△）	（千円）	△397,096	△246,638	△981,986
四半期包括利益又は包括利益	（千円）	△388,757	△248,049	△972,297
純資産額	（千円）	5,411,630	4,505,901	4,828,001
総資産額	（千円）	10,951,156	9,755,214	10,106,976
１株当たり四半期（当期）純損失金額（△）	（円）	△265.40	△166.54	△659.67
潜在株式調整後１株当たり四半期（当期）純利益金額	（円）	―	―	―
自己資本比率	（%）	49.40	46.15	47.74
営業活動によるキャッシュ・フロー	（千円）	△893,861	△103,260	△1,085,785
投資活動によるキャッシュ・フロー	（千円）	△599,877	△316,651	△1,290,446
財務活動によるキャッシュ・フロー	（千円）	△88,089	△173,045	△119,812
現金及び現金同等物の四半期末（期末）残高	（千円）	2,899,547	1,392,374	1,985,332

（注）（省略）

（訂正後）

回次		第90期 第２四半期 連結累計期間	第91期 第２四半期 連結累計期間	第90期
会計期間		自　2017年４月１日 至　2017年９月30日	自　2018年４月１日 至　2018年９月30日	自　2017年４月１日 至　2018年３月31日
売上高	（千円）	7,036,412	5,935,550	13,264,045
経常損失（△）	（千円）	△218,578	△234,654	△588,053
親会社株主に帰属する四半期（当期）純損失（△）	（千円）	△397,096	△246,638	△981,986
四半期包括利益又は包括利益	（千円）	△388,757	△248,049	△972,297
純資産額	（千円）	5,411,630	4,505,901	4,828,001
総資産額	（千円）	10,951,156	10,285,425	10,106,976
１株当たり四半期（当期）純損失金額（△）	（円）	△265.40	△166.54	△659.67
潜在株式調整後１株当たり四半期（当期）純利益金額	（円）	―	―	―
自己資本比率	（%）	49.40	43.77	47.74
営業活動によるキャッシュ・フロー	（千円）	△893,861	△103,260	△1,085,785
投資活動によるキャッシュ・フロー	（千円）	△599,877	△316,651	△1,290,446
財務活動によるキャッシュ・フロー	（千円）	△88,089	△173,045	△119,812
現金及び現金同等物の四半期末（期末）残高	（千円）	2,899,547	1,392,374	1,985,332

（注）（省略）

第２【事業の状況】

２【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(2) 財政状態の分析

（訂正前）

（前略）

（資産）

当第２四半期連結会計期間末における流動資産は49億69百万円となり、前連結会計年度末に比べ７億1百万円減少いたしました。主な減少の要因は、現金及び預金が５億92百万円減少したことによるものであります。固定資産は47億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ３億49百万円増加いたしました。主な増加の要因は、有形固定資産が３億48百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は97億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ３億51百万円減少いたしました。

（負債）

当第２四半期連結会計期間末における流動負債は33億９百万円となり、前連結会計年度末に比べ30百万円増加いたしました。主な増加の要因は、短期借入金が88百万円増加したことによるものであり、主な減少要因は支払手形及び買掛金が47百万円減少したことによるものであります。固定負債は19億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ59百万円減少いたしました。主な増加の要因は、リース債務が１億３百万円増加したことによるものであり、主な減少の要因は、長期借入金が１億62百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は52億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ29百万円減少いたしました。

（後略）

（訂正後）

（前略）

（資産）

当第２四半期連結会計期間末における流動資産は49億69百万円となり、前連結会計年度末に比べ７億１百万円減少いたしました。主な減少の要因は、現金及び預金が５億92百万円減少したことによるものであります。固定資産は53億15百万円となり、前連結会計年度末に比べ８億79百万円増加いたしました。主な増加の要因は、有形固定資産が８億78百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は102億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ１億78百万円増加いたしました。

（負債）

当第２四半期連結会計期間末における流動負債は33億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ34百万円増加いたしました。主な増加の要因は、短期借入金が88百万円増加したことによるものであり、主な減少要因は支払手形及び買掛金が47百万円減少したことによるものであります。固定負債は24億64百万円となり、前連結会計年度末に比べ４億65百万円増加いたしました。主な増加の要因は、リース債務が６億28百万円増加したことによるものであり、主な減少の要因は、長期借入金が１億62百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は57億79百万円となり、前連結会計年度末に比べ５億円増加いたしました。

（後略）

第４【経理の状況】

２．監査証明について

（訂正前）

当社は、金融商品取引法第193条の２第１項の規定に基づき、第２四半期連結会計期間（2018年７月１日から2018年９月30日まで）及び第２四半期連結累計期間（2018年４月１日から2018年９月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、東陽監査法人による四半期レビューを受けております。

（訂正後）

当社は、金融商品取引法第193条の２第１項の規定に基づき、第２四半期連結会計期間（2018年７月１日から2018年９月30日まで）及び第２四半期連結累計期間（2018年４月１日から2018年９月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、東陽監査法人による四半期レビューを受けております。

なお、金融商品取引法第24条の４の７第４項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出しておりますが、訂正後の四半期連結財務表について、東陽監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

（1）【四半期連結貸借対照表】

（訂正前）

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2018年３月31日)	当第２四半期連結会計期間 (2018年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,028,292	1,435,334
受取手形及び売掛金	※3 2,531,632	※3 2,448,016
商品及び製品	348,261	454,867
仕掛品	163,781	111,284
原材料及び貯蔵品	288,631	373,388
その他	313,157	149,402
貸倒引当金	△2,844	△2,790
流動資産合計	5,670,912	4,969,504
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	409,574	753,064
機械装置及び運搬具（純額）	743,867	1,019,470
工具、器具及び備品（純額）	14,049	18,379
土地	1,970,148	1,973,993
リース資産（純額）	8,250	124,690
建設仮勘定	407,642	12,677
有形固定資産合計	3,553,533	3,902,276
無形固定資産	33,816	32,671
投資その他の資産		
投資有価証券	438,166	435,803
繰延税金資産	14,131	17,435
その他	403,863	397,524
貸倒引当金	△7,448	-
投資その他の資産合計	848,713	850,763
固定資産合計	4,436,064	4,785,710
資産合計	10,106,976	9,755,214

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2018年３月31日)	当第２四半期連結会計期間 (2018年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	※3 1,502,136	※3 1,454,192
短期借入金	1,271,860	※2 1,360,430
未払法人税等	7,842	18,916
賞与引当金	95,318	104,604
その他	402,473	371,637
流動負債合計	3,279,631	3,309,779
固定負債		
長期借入金	750,120	587,280
退職給付に係る負債	589,008	590,168
役員退職慰労引当金	9,874	10,040
繰延税金負債	637,260	635,770
資産除去債務	3,355	3,373
リース債務	9,725	112,899
固定負債合計	1,999,343	1,939,533
負債合計	5,278,975	5,249,313
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,351,300	1,351,300
資本剰余金	814,596	814,596
利益剰余金	2,743,946	2,423,258
自己株式	△196,800	△196,801
株主資本合計	4,713,042	4,392,353
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	112,495	110,008
その他の包括利益累計額合計	112,495	110,008
非支配株主持分	2,463	3,539
純資産合計	4,828,001	4,505,901
負債純資産合計	10,106,976	9,755,214

（訂正後）

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2018年３月31日)	当第２四半期連結会計期間 (2018年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,028,292	1,435,334
受取手形及び売掛金	※３ 2,531,632	※３ 2,448,016
商品及び製品	348,261	454,867
仕掛品	163,781	111,284
原材料及び貯蔵品	288,631	373,388
その他	313,157	149,402
貸倒引当金	△2,844	△2,790
流動資産合計	5,670,912	4,969,504
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	409,574	753,064
機械装置及び運搬具（純額）	743,867	1,019,470
工具、器具及び備品（純額）	14,049	18,379
土地	1,970,148	1,973,993
リース資産（純額）	8,250	654,900
建設仮勘定	407,642	12,677
有形固定資産合計	3,553,533	4,432,486
無形固定資産	33,816	32,671
投資その他の資産		
投資有価証券	438,166	435,803
繰延税金資産	14,131	17,435
その他	403,863	397,524
貸倒引当金	△7,448	-
投資その他の資産合計	848,713	850,763
固定資産合計	4,436,064	5,315,921
資産合計	10,106,976	10,285,425

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2018年３月31日)	当第２四半期連結会計期間 (2018年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	※3 1,502,136	※3 1,454,192
短期借入金	1,271,860	※2 1,360,430
未払法人税等	7,842	18,916
賞与引当金	95,318	104,604
その他	402,473	376,397
流動負債合計	3,279,631	3,314,540
固定負債		
長期借入金	750,120	587,280
退職給付に係る負債	589,008	590,168
役員退職慰労引当金	9,874	10,040
繰延税金負債	637,260	635,770
資産除去債務	3,355	3,373
リース債務	9,725	638,349
固定負債合計	1,999,343	2,464,983
負債合計	5,278,975	5,779,523
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,351,300	1,351,300
資本剰余金	814,596	814,596
利益剰余金	2,743,946	2,423,258
自己株式	△196,800	△196,801
株主資本合計	4,713,042	4,392,353
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	112,495	110,008
その他の包括利益累計額合計	112,495	110,008
非支配株主持分	2,463	3,539
純資産合計	4,828,001	4,505,901
負債純資産合計	10,106,976	10,285,425

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年９月６日

ボーソー油脂株式会社

取締役会　御中

東陽監査法人

指定社員
業務執行社員　公認会計士　田島　幹也　印

指定社員
業務執行社員　公認会計士　清水谷　修　印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の２第１項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているボーソー油脂株式会社の2018年４月１日から2019年３月31日までの連結会計年度の第２四半期連結会計期間（2018年７月１日から2018年９月30日まで）及び第２四半期連結累計期間（2018年４月１日から2018年９月30日まで）に係る訂正後の四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ボーソー油脂株式会社及び連結子会社の2018年９月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第２四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

その他の事項

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は、四半期連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の四半期連結財務諸表に対して2018年11月12日に四半期レビュー報告書を提出した。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以　上

（注）１．上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
２．ＸＢＲＬデータは四半期レビューの対象には含まれていません。